

多様性とブランドイメージ: ヴィクトリア・シークレットファッションショー

DIVERSITY AND BRAND IMAGE - THE VICTORIA'S SECRET FASHION SHOW

鳥山ゼミ
VicTORIYAMA's secret

研究背景・意義

2024年、6年ぶりにあのヴィクトリア・シークレットファッションショーが復活する。1990年代以降、ヴィクトリアシークレットは「理想的な女性像」をシンボルとするブランドとして、ランジェリーのファッションショーを通して世界にその魅力を発信してきたが、2019年以降、消費者の多くが従来の女性に対するステレオタイプな女性像に違和感を感じ始め、その固定的な「美」や「女性らしさ」、また多様性の欠如が批判を浴びる要因の一部となり、2019年以降ファッションショーは中止となっていた。

多様性が唱えられているこの国際社会の中で、フェミニズムを研究している私たちなら、どのようなステージを消費者に届けるのかを過去の出来事など様々な視点から分析し、一つのファッションショーを作り上げる。この分析を通して現代社会のジェンダー観の進展やジェンダー規範の変遷についての理解をより深め、ジェンダー表象の再考を目指す。

ビクトリア・シークレットファッション ショーってなあに?

・1977年にロイ・レイモンドによって設立された“Victoria's secret”が、ホリデーシーズンに恒例イベントとして1995年から行っているランジェリーのファッションショー。

「エンジェル」と呼ばれるセクシーなモデルたちが広告塔となり、選ばれしエンジェルだけが着用できる宝石付きの「ファンタジーブラ」などが毎年注目を集める。

⇒2010年代半ばにはランジェリー店舗市場の半分を占めるほどに!

2010年代後半

一気に「時代遅れ」に

・出演モデルたちの食事制限やトレーニングを紹介する「Train Like an Angel」
▷ショーを前にやせ細っていく「エンジェル」の健康を心配する声

・2018年 最高幹部の問題発言

「ショーは『ファンタジー』だからトランスジェンダーのモデルや太ったモデルは起用しない」
⇒細い白人女性のモデルを多く起用していた

・2019年 親会社(リミテッド・ブランズ)のCEO兼会長(レス・ウェスクナー)と
ジェフェリー・エプスタインの関係が報じられる

1996年、ヴィクシーの仕事として呼び寄せられたモデルが性暴力の訴えを提出している
⇒「性差別主義」「時代錯誤」「多様性の欠如」といった批判が集まり、**ショー中止**に

VS2024VERの分析 結論: 現代で必須とされるテーマ、多様性と持続可能性へのフルシフト

多様なモデルの起用

トランスジェンダーモデル
プラスサイズモデル
多国籍
50代モデル

- 女性のエンパワメントの主張
 - 女性のみでの演出
 - 市販ジュエリーのみでの着用

ダイエットを助長する描写の廃止
食事制限や、トレーニングを紹介する
「Train Like an Angel」の封印

パフォーマンスであると一部批判されるものの、過去の問題発言や状況を考慮すると、**多様性への配慮へ大きな一歩**を踏み出したと言えるだろう。

多様性により配慮するなら....

人種 黒人、アジア人など白人以外の割合を増やす
体型 プラスサイズ、ミドルサイズモデルなどの起用
年齢 幅広い年代のモデルを起用
障害 車椅子モデル、障害者モデルの起用
LGBTQ トランスジェンダーモデルを増やす
性別 男性モデル、他ジェンダーの起用

全てを
均等に?

これが本当に求められていることなの?
多様性パフォーマンスでしかないのでは?

ショーの出発点、ブランドが伝えたいことは
ランジェリーラインをより多くの人に届ける!!

必要なのは着用者を差別的に選ばないこと
×多様性取り入れてますアピール

VS2024TORITAMA'S VER

ビクシーらしさが否定されるのも問題

×全てを均等に ⇒ 観客に近い多様なモデルも取り入れる

- ①人種、肌の色の偏りは無くす
- ②プラスサイズ、ミドルサイズ、低身長など多様な体型
- ③幅広い年代
- ④トランスジェンダーモデル (MtF)
- ⑤メンズラインのローンチ (男性モデル、FtMモデルetc)
- ⑥障がい者モデルの起用 (身体的、精神的)

今回の本家ショーと近い気が....

今後への期待

VS2024 TORIYAMA'S VER のファッションショーではジェンダーや年齢、容姿などに基づく「美」の基準を設けず、また多様性をパフォーマンス化せず、あらゆる個性をありのままにステージ上で体現する。そして、自分の個性や特徴によってファッションは制限されるべきでは無いということを伝えたい。新たな時代のファッションショーは特定のジェンダーの「らしさ」を助長するものではなく、観客に近い特徴を持つモデルを採用することにより、身近な憧れの対象として多様性を促進するものに変遷していくだろう。

容姿やジェンダーに囚われず「自分らしさ」だけで着飾ることができる。そんなファッションや社会の実現に、ファッションショーの存在が貢献していくことを私たちは期待する。

参考文献
・CREA「6年ぶり復活」細身セクシー復帰もファンタジーブラは封印... ヴィクトリアズ・シークレットが見せた“現実”(2024年10月20日)
https://crea.bunshun.jp/articles/-/50936?page=2#goog_rewarded

・ELLE「Do You Know Why Victoria's Secret Is Named 'Victoria's Secret?」(2024年5月2日) <https://www.elle.com.au/culture/news/victorias-secret-name-meaning-15098/>

・FASHIONS NAP「ヴィクトリアズ・シークレット」はどう変わったのか 6年ぶりに開催されたショーの全貌(2024年10月22日) <https://www.fashionsnap.com/article/victoriassecret-24/>

・Kaliviotis, C. (n.d.). Fallen Angels. The Victoria's Secret Fashion Show Is Officially Cancelled. Grazia. <https://graziomagazine.com/articles/its-over-the-victorias-secret-show-is-officially-cancelled/>

・Silver-Greenberg, J., Rosman, K., Maheshwari, S., & Stewart, J. B. (2020, February 1). "Angels" in Hell: The Culture of Misogyny Inside Victoria's Secret. The New York Times. <https://www.nytimes.com/2020/02/01/business/victorias-secret-razek-harassment.html?login=ml&auth=login-ml®ister=email&auth=register-email#>

・Victoria's Secret (2024, October 15) 「The Victoria's Secret Fashion Show 2024」 <https://www.youtube.com/watch?v=A8n9wf0R1xo>